

岐阜県知事選挙 投・開票結果

任期満了に伴う岐阜県知事選挙が1月26日に行われ、即日開票の結果、新人の江崎禎英氏が当選しました。

市内の当日有権者数は12万7,657人、投票者数は4万2,619人で、投票率は33.39%。4年前の前回選挙を11.31ポイント下回りました。

市内の開票結果は、次のとおり（得票数順、敬称略）。

- ◆江崎禎英（無新） 31,313票
- ◆和田玲子（無新） 10,635票

大垣市長選挙 立候補関係者説明会

市選挙管理委員会は、4月13日(日)に実施を予定している「大垣市長選挙」の立候補関係者説明会を次のとおり開きます。関係者は、出席してください。詳しくは、同委員会事務局（☎47-8292）へ。

- ▶とき／2月20日(木) 午後2時～
- ▶ところ／市役所3階 会議室3-4

天皇誕生日の振替休日(2/24)は ごみ収集を休みます



問合せ／クリーンセンター（☎89-4124）

収集日	もえるごみ	もえないごみ ペットボトル	プラスチック製 容器包装
2/24 (月・振)	収集を休みます この日が収集日の区域は、2/27(木)に収集します		

審議会などの傍聴ができます

大垣市生活支援体制整備推進協議会 担当：高齢福祉課（☎47-7416）		
2/25(火)	13:30～15:00	市役所4階 会議室4-4
・令和6年度生活支援体制整備事業実績報告について ほか		

令和6年度の住民税非課税世帯を対象に 「物価高騰臨時特別給付金」を支給

物価高騰による負担増を踏まえ、家計への影響が大きい令和6年度住民税非課税世帯を対象に、1世帯当たり3万円を支給します。

令和6年度住民税非課税世帯のうち、対象と思われる世帯の世帯主へ申請書類などを順次郵送しますので、手続きをお願いします。

また、本給付金を受給した世帯で、18歳以下の児童を扶養している子育て世帯を対象に、児童1人当たり2万円を後日、追加支給します（原則、手続き不要）。

詳しくは、市HPをご覧ください。物価高騰臨時特別給付金コールセンター（☎71-7627 平日の午前8時30分～午後5時15分）へ。



市HP

- ▶対象世帯／令和6年12月13日時点において、大垣市に住民票があり、世帯全員の令和6年度の住民税（均等割）が課税されていない世帯 ※ただし、次の①～④のいずれかに該当する世帯は除く
 - ①令和6年1月1日時点で日本国内に住民登録が無い人のみで構成されている世帯
 - ②世帯の全員が、住民税均等割が課せられている他の親族などの扶養を受けている世帯
 - ③租税条約による住民税の免除を届け出ている人がいる世帯
 - ④すでに他の市区町村で同様の低所得世帯に対する3万円の給付を受けている世帯

▶申請方法／下表のとおり

No.	対象世帯の状況	申請手続きなど	発送時期など	申請期間など
1	大垣市が指定する事業において世帯主名義の口座が登録されている世帯	振込口座と支給予定日を記載した「支給通知書」を郵送。口座変更などがない場合は 手続き不要	2月27日以降に順次郵送予定	口座変更などがある場合は3月13日までに申出
2	No.1以外の世帯	「確認書」などを郵送。必要事項を記入して、 返送が必要	2月27日以降に順次郵送予定	2月28日から5月30日までに申請
3	対象の可能性のある世帯（未申告や転入者で税情報不明者を含む世帯など）	「申請書」を自ら入手など。必要事項を記入して、 申請が必要	2月28日から社会福祉課などで配布予定（一部申請書を郵送する世帯あり）	

市民病院・豊田院長の 健康コラム No.11

風邪は万病のもと ～感染しない努力が第一です～

皆さん、こんにちは。市民病院院長の豊田秀徳です。健康コラム第11回をお届けします。

今回は、この季節に流行する最も身近な病気、風邪のお話です。

風邪はウイルスが感染して起こります。喉や気管支(上気道といいます)に感染するのが一般的ないわゆる風邪、上気道ではなく食べ物の通る消化管に感染するのが胃腸風邪です。症状は喉の痛みや咳、胃腸風邪なら吐き気や下痢が代表的です。風邪のウイルスには無数の種類があり、インフルエンザやコロナのウイルスもその1つです。それぞれのウイルスにはさらに細かい種類があり、何回風邪を引いてもまた風邪を引くのは別の種類のウイルスに感染するからです。

よく言われる話ですが、風邪を「治す」薬はありません。「抗生物質を飲めば」という話を耳にしますが、抗生物質は細菌にしか効果がありません。ウイルスは細菌とは全く別物ですので効かないのです。風邪はある意味台風と一緒に、通り過ぎるまで、つまり時間が経って治るまで待つしかありません。その間の被害(症状)をできるだけ最小限に抑えるために薬を飲みます。ただタミフルなどの薬はウイルスに効果があり、内服する時期によっては症状を軽くする作用があります。

さて、風邪は通常軽い病気と捉えられがちですが、時として怖いことがあります。まず問題となるのは高熱、これは特に高齢の方には相当こたえます。高熱というだけで脱水になって腎臓を悪くしたり、意識が悪くなったりして救急を受診する方もおられます。



解熱剤と点滴で元に戻ることが多いですが、放っておけば命に関わる場合もあると考えましょう。また、風邪が細菌による肺炎を引き起こすことがあります。喉は肺への入り口で、ここで細菌などの侵入を抑えていますが、風邪でこの防御が弱まると細菌が肺に入りやすくなり肺炎の原因になります。肺炎は風邪のように軽くは済まず、入院して抗生物質や酸素の投与が必要になる場合もあります。

ところで「風邪は万病のもと」と言われます。時として風邪を引き金に非常に重症な病気を発症することがあります。これには2つのメカニズムがあります。1つは風邪のウイルスが上気道や消化管以外の臓器に入り込んで(感染して)起こすものです。最近のインフルエンザの流行では脳炎や心筋炎がよく報告されており、これらは命に関わる病気です。もう1つは風邪ウイルスに感染したことで自分の体に抗体ができ、それが自分の臓器をウイルスと間違えて攻撃にかかることによって生じる病気です。インスリンが欠かせないI型糖尿病や、全身の筋肉が動かなくなって人工呼吸器が必要になることもあるギラン・バレー症候群などがこれにあたります。

こう見ると、やはり風邪にはかからないに越したことはありません。どうすればいいのでしょうか？多くの風邪ウイルスにはワクチンはありません。結局は日々の注意が第一です。マスクをする、うがい・手洗いをする、人混みに行かない、これら基本的な注意が、思っている以上に感染を防ぎます。

コロナやインフルエンザ以外の風邪も怖いことがあるということ念頭におき、引き続き感染に注意した生活を送りましょう。

コラムで取り上げてほしい話題などは、入力フォームへ



入力フォーム